

都道府県名：岩手県	市町村名：盛岡市
<p>1. 活動名 森林資源（つる等）を活用したリースづくり及び環境学習</p>	
<p>2. 取組の背景、目的</p> <p>木の生長を阻害する， つる等を活用し， リースづくりを体験すると同時にその植生や， 木の実などの飾りに使用する「森の恵み」を体感する体験学習を行うもの</p>	
<p>3. 実施主体 盛岡市と NPO の協働事業</p>	
<p>4. 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生等を対象とした森林環境学習， リース材料収集体験</li> <li>・リースの製作体験</li> <li>・リースの街頭展示等</li> </ul>	
<p>5. 支援事業（国、都道府県、各種団体等から支援、補助を受けている事業名、及び補助率を記入して下さい。） NPO 協働推進事業（市補助）</p>	
<p>6. 取組等についての成果や課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生等に自然と親しみながら環境や森林について学習する機会となった</li> <li>・市民等に街頭展示を通じて自然を身近に感じてもらえるきっかけとなった</li> </ul>	

### 写真添付欄



### 写真の説明欄

森林公園において、厳冬期の雪を活用し「雪室」(ゆきむろ)を製作し、夏場に環境学習教材として開放した。中にはりんご等を保存している。



リースの材料となる森林素材を説明する森林公園管理人



森林環境学習を兼ねたリース製作体験に小学校を訪問し親子300人で製作体験を行っている様子



リースの材料として岩手県特産の「南部アカマツ」の経木(きょうぎ)を用いたリースオーナメント

(別紙 4 - 1) 森林環境教育の活動事例

都道府県名：岩手県	市町村名：住田町
1. 活動名 森林環境学習	
2. 取組の背景、目的 幼児期（0 歳～6 歳）は基礎的な行動様式の形成、集団生活を初めて経験する時期。この時期には「感覚的なアプローチ：森であそぼう」として、スムーズに森に接する感覚を醸成することを目的として実施。 少年前期（7 歳～12 歳）は基礎的な知識・技能の習得、心身の発育、自発性を発揮する時期。この時期は、「体験的なアプローチ・森から学ぼう」として、森林の持つ機能に関して学習し、森林の多面的な機能について学習することを目的として実施。 少年期後期（13 歳～18 歳）は、社会常識・社会規範意識を確立し地域社会における自己の立場を認識し、就業意識を確立するする時期。この時期には「思考的アプローチ：森について考えよう」として、地域産業への理解と、森林環境の基礎的な知識を学習することを目的として実施。	
3. 実施主体 住田町	
4. 取組の概要 平成 22 年度 ・ 保育園児：自然観察・散策・ネイチャーゲーム・雪遊び等 （将来保育関係への就業希望の高校生がボランティアで参加） ・ 小学校低学年：自然観察・散策・植物採集等 ・ 小学校 4・5 年生：水生生物調査 ・ 中学 1 年生：森林・林業体験（座学・森林公園でのフィールドワーク） ・ 中学 2 年生：森林・林業体験（座学・間伐体験） ・ 中学 3 年生：森林・林業体験（座学・木工団地見学） ・ 高校生：森林環境学習（すみたの森林の担い手育成セミナー）	
5. 支援事業（国、都道府県、各種団体等から支援、補助を受けている事業名、及び補助率を記入して下さい。） 農業用水水源地域保全対策事業（普及促進対策） 補助率：定額	
6. 取組等についての成果や課題 町内の 2 保育園の園児、2 小学校の児童、2 中学校の生徒、高校生に対して森林体験・環境学習を行った。（保育園 8 回、小学校 5 回、中学校 12 回、高校 1 回、計 26 回） 延べ 643 名が参加し、森林・林業等に対する理解の醸成を図った。	

写真添付欄	写真の説明欄
	<p>森の保育園（年長・年中園児）</p> <p>散策前にイラストを利用して危険な動植物について説明している様子（講師：すみた森の案内人の会）</p>
	<p>森林体験学習（小学1・2年生）</p> <p>草木遊びを紹介している様子（講師：すみた森の案内人の会）</p>
	<p>水生生物調査（小学4年生）</p> <p>生物採取の様子（講師：岩手県立博物館主任専門学芸員）</p>
	<p>木工団地見学（中学3年生）</p> <p>プレカット工場のCAD作業室見学の様子（講師：けせんプレカット事業（協）高田工場長）</p>

(別紙 4 - 1) 森林環境教育の活動事例

都道府県名：岩手県	市町村名：二戸市、軽米町、九戸村、一戸町
1. 活動名 森林環境教育推進事業	
2. 取組の背景、目的 森林教育プログラムの策定や学校における総合学習課程の導入を契機に、森林教育が子供の情操教育上有効な選択肢であることが認識され、専門家による森林教育を望む教育者が増加している。 このような背景のもと、折爪岳森林公園等、森林教育の格好のフィールドを有している特性を活かし、事業主体である NPO 法人において、次代を担う子供たちに対し、学校等関係機関と連携して総合学習課程等において森林環境教育を行い、児童生徒はもとより、地域住民の森林・林業に対する理解を深めることを目的に、平成 18 年度から継続して実施しているもの。	
3. 実施主体 NPO 法人 カシオペア森林塾	
4. 取組の概要 1 森の学校開催事業（管内小学校対象） 管内小学校の総合学習課程において、学校側の求めに応じ、森林教育プログラムの提供を行うとともに、森林組合職員、森の達人（県独自認定）等専門家の派遣を行う。 2 ジュニアフォレスターズ大作戦（管内児童対象） 県北青少年の家と連携し、管内外の児童を対象に、地元の豊かな森林フィールドを活用し、森林・林業体験活動や木工製作などを行う。	
5. 支援事業（国、都道府県、各種団体等から支援、補助を受けている事業名、及び補助率を記入して下さい。） 地域振興推進費（県単独事業）補助率 1/2 平成 22 年度事業費 1,078,000 千円（内補助額 539,000 円）	
6. 取組等についての成果や課題 (成果) ・ 学校教育との連携により、より多くの児童生徒に対して森林を通じた環境保全意識の情勢と森林を守り育てる林業への理解を深めることができた。 ・ 森の達人や森林組合職員等、森林環境教育のエキスパートを育成できた。 (課題) ・ NPO が自立的に活動できる事務局体制と資金調達体制の構築。	

写真添付欄



写真の説明欄

森の学校  
森林の話



森の学校  
炭焼き体験